

う ち な ~ む ん

沖縄にゆかりのある芥川賞作品

『豚の報い』

又吉栄喜 著

文芸春秋

所蔵館：全館



浦添市出身。1996年、第114回芥川賞受賞。

最初の一文：

「豚の、スナック「月の浜」への闖入が
しょうきち 正吉と三人の女をまじゃ真謝島に向かわせている。」

『カクテル・パーティー』

大城立裕 著

文芸春秋

所蔵館：

中央館、石川館



中城村出身。1967年、第57回芥川賞受賞。

最初の一文：

しゅえい 「守衛にミスター・ミラーの名とハウス・ナンバーをいうと、いちおう電話でたしかめた上で、ゲートからの道筋を教えてくれた。」

『水滴』

目取真俊 著

文芸春秋

所蔵館：

全館



今帰仁村出身。1997年、第117回芥川賞受賞。

最初の一文：

とくしょう 「徳正の右足が突然膨れ出したのは、六月の半ば、空梅雨の暑い日差しを避けて、裏座敷の簡易ベッドで昼寝をしている時だ。」

『オキナワの少年』

東峰夫 著

文芸春秋

所蔵館：

中央館、石川館



父祖の地。1972年、第66回芥川賞受賞。

最初の一文：

「ぼくが寝ているとね、「つね、つねよし、う起きれ、う起きらんな！」と、おっかあがゆすりおこすんだよ。」